

中高生世代への支援

取組の背景・目的

台東区の児童館では、中高生世代の居場所づくりとして「中高生タイム」や各児童館で様々な取組を実施している。思春期に入った中高生世代が求める放課後の居場所の形は年々多様化しており、中高生世代にとって、家庭でも学校でもなく、安全に自分らしく過ごせる「第3の居場所」の存在は非常に重要である。中高生の居場所づくりの取組のひとつとして、平成16年度から台東区内8児童館のうち、2つの館で「中高生タイム」の実施を開始。自主性や社会性を養うことを目的として、開館時間を延長し午後6時から7時までの時間を中高生が専有して過ごすことができるよう設定した。

利用状況や活動内容、児童館の立地などの観点から実施する児童館の見直しが行われ、令和2年度より台東区立池之端児童館で「中高生タイム」を実施している。

台東区立池之端児童館では「中高生タイム」の専有時間（午後6時～7時）に限らず、遊びや学習など中高生の声に応えることができるように環境整備を行った。そのひとつとして、中高生学習応援企画「池之端 STUDY ルーム」を行っている。

取組の概要

中高生学習応援企画「池之端 STUDY ルーム」

【対象】

中学生・高校生

【実施日・実施期間】

実施日：開館日（月曜日～土曜日）

時間：午後3時～7時 ※土曜日は午後6時まで

【場所】

集会室

【活動内容】

中間テスト期間や期末考査に向けて、集中して自主学習を行える専用の空間を設けた。



工夫点・留意点

「塾や家ではない場所で落ち着いて勉強がしたい」という中高生からの声をきっかけに、専用の部屋を設けた。友達同士で学び合えるだけでなく、個人で学習できるスペースも設置することで、複数のニーズに応えられるよう工夫している。時間中は中高生が自由に使用できることとし、専用の部屋には、様々な分野（学習、アート、音楽、スポーツ、ファッションなど）の書籍だけでなく、ボードゲームやカードゲーム、ドラムやギターなどの楽器も揃えている。中高生のニーズをできる限り取り入れる視点を大切にし、物品購入を行っている。ニーズ把握のために、「こども会議」や「アンケート」を行っている。

企画の実施にあたっては、専有スペースで学習ができることを近隣の学校に出向いて説明したり、ポスターやチラシ、中高生の情報収集ツールのひとつであるLINEを活用し周知を行った。

取組の効果

専有スペースを設けたことで中高生の多様な過ごし方や利用のしやすさに繋がり、「STUDY ルーム」期間だけでなく、日常的な利用も定着している。友人同士で勉強を教え合う中で、学校や学年の枠を超えた交流にもつながっている。専有スペースのため、勉強の合間に運動遊びやカードゲームなどでリフレッシュできることも魅力のひとつであり、長い時間の利用にもつながっている。

「遊び場」「学習の場」としての機能だけでなく、「カードゲーム大会がやりたい」、「卓球大会がやりたい」、「バンド活動がしたい」といった中高生自らが考え、主体的に活動を展開していく姿がみられるようになった。小学生とふれあう行事を実施する際には、中高生がリーダーシップをとり、教えたり、教えられたりする中で思いやりの心が育まれ、社会性を養う機会となっている。初めは学習を目的に来館していた中高生が、「自分を出せる場」、「身近な大人との関わり」を求めるようになってきている。職員と遊び様々な相談をするなど、話し相手を求めている場合も多く、時間をかけて関わりが必要なことを職員間で共有し、関係づくりに努めた。その他にも、中高生が乳児とふれあう「ふれあい事業」を実施し、中高生が乳児とふれあうことにより、命の尊さや子育てについて知る機会を提供することができた。



課題・今後の展開

引き続き中高生のニーズを的確に把握することに努め、学校や関係機関とも連携し、児童館が放課後の中高生の居場所となることできるように取り組んでいく。

また、事業として行っている「職場体験」や「ふれあい事業」、「自主活動」などがさらに発展し、ボランティア活動を含めた自発的な活動に繋がることを目指していく。その結果、「遊び場」だけでなく「やりたいことが出来る場所」となり、中高生が将来を考えるきっかけとなるような主体的な活動が行われる居場所となるよう尽力していきたい。